

【資料 2】

加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）進行管理方法の検討について

進行管理の課題と手法（案）

1 位置付け

- ・ 資料 1 のとおり

2 課題

- ・ 「施策体系」はあるものの、「具体的な取組」の詳細な取組までの体系一覧表がない。
- ・ 目標指標が未設定
- ・ 目標値が未設定
- ・ CO₂削減値が未設定

3 手法（案）

- ・ 別紙 2－1 のとおり体系一覧表を作成する。
- ・ 別紙 2－2 のとおり個別シートを作成する。
- ・ 「具体的な取組」に数値目標で進行管理できるようにする。
- ・ 数値目標を設定する場合には目標指標、目標値、可能な限り CO₂削減値を設定する。

4 今後のスケジュール

- ・ 第 2 回協議会までに事務局案を提示し、ご意見をいただく。
- ・ 第 3 回協議会で令和 8 年度以降、適正な進行管理ができるように整理・報告する。
- ・ 令和 8 年度から令和 12 年度までの間に、適宜、当該計画全体（施策体系・基本方針・基本施策・具体的な取組・その詳細な取組、目標指標、目標値など）の精査を行い、第 3 次加須市総合振興計画策定と整合を図りながら当該計画改訂に備える。

進行管理シート（案）

	基本施策	具体的な取組	取組内容	各主体の役割			目標指標	指標化	単位	2023年（R5）	2024年（R6）	2025年（R7）	2030年（R12）		2050年		根拠
				市民	事業者	行政				実績値	実績値 （集計中）	目標値	目標値	削減量 （千tCO2）	目標値	削減量 （千tCO2）	『加須市の環境』 （R6年度）より
1	1 省資源・省エネルギー対策の推進	(1)ゼロカーボンシティ宣言	①ゼロカーボンシティ宣言			○	（例）周知回数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
2		(2)省エネ設備設置の促進	①再エネ電気への切り替え	○	○	○	再エネ電気活用の周知回数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
3			②省エネ家電の導入	○	○	○	省エネ設備導入による効果周知回数	○	件	2		2	－	－	－	－	
4			③消費エネルギーの見える化	○	○	○	（例）スマートメータ導入件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5		(3)LED化の促進	①省エネ照明器具の導入	○	○	○	（例）LED化率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	（参考）p.97
6		(4)情報提供・行動実践の啓発	①節電、節水	○	○	○	省エネ設備導入による効果周知回数	○	件	2		2	－	－	－	－	p.96
7			②マイバック、マイボトル、マイ箸、マイストロー等の使用	○	○	○	ごみのリサイクル率	○	%	37.6		40	－	－	－	－	p.130
8			③フリーマーケット、シェアリング、サブスクリプション等の活用	○	○	○	（例）リサイクル・シェアリング品使用率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
9			④クールビズ、ウォームビズ	○	○	○	（例）クールビズ・ウォームビズ実施率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
10			⑤宅配サービスをできるだけ1回で受取り	○	○	○	（例）宅配ボックス使用率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
11			⑥省エネ住宅の選択	○			省エネ設備導入による効果周知回数	○	件	2		2	－	－	－	－	p.96
12		(5)グリーン購入の啓発	①脱炭素型の製品・サービスの選択	○	○	○	（例）環境配慮マーク商品購入率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
13			②環境に配慮した服を選ぶ	○	○	○	（例）環境配慮型商品着用率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
14		(6)雨水の有効活用	①雨水貯留施設の設置促進	○	○	○	雨水貯留施設整備目標値に対する整備率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	（参考）p.100（行政のみ）
15			②保水性舗装の整備			○	溢水対策計画に基づく対策完了割合	○	%	86		100	－	－	－	－	p.125
16			③グリーンライフ	○	○	○	（例）雨水の活用件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
17		(7)地産地消の推進	①旬の食材、地元の食材で作った菜食を取り入れた健康な食生活	○	○	○	（例）地元農産物の購入率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
18		(8)エコ工業団地づくりのサポート	①グリーン成長		○		工業団地内事業所による美化活動実施事業所件数	○	件	－		－	－	－	－	－	R6から状況把握
19	2 温室効果ガスの吸収源対策	(1)グリーンカーテンの設置促進	①グリーンカーテンコンテストの実施		○	○	グリーンカーテンコンテスト応募件数	○	件	13		－	27	－	－	－	p.119
20		(2)緑の創造	①環境美化活動の促進	○		○	環境美化活動団体登録活動団体数	○	団体	38		－	46	－	－	－	pp.45-46
21			②オープンガーデン参加者の拡大	○		○	オープンガーデン登録活動団体数	○	団体	11		－	23	－	－	－	p.84
22			③暮らしに木を取り入れる	○		○	（例）木の苗配布数（年）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
23			④植林等の活動	○	○	○	（例）植林活動実施事業所等のPR回数（年）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
24		(3)屋敷林等の保全	①屋敷林等の保全	○		○	保存樹林（屋敷林等）の指定面積	○	m	91,717.50		－	109,000	－	－	－	p.80
25			②樹木の保全	○		○	保存樹林・保存樹木の指定件数	○	件	75		－	84	－	－	－	p.80
26	3 自転車利用の促進	(1)総合的・計画的な自転車利用の促進	①スマートムーブ（マイカーを中心とした移動手段を見直し、公共交通機関や自転車の利用により、二酸化炭素排出量を削減する取組）	○	○	○	一日自動車を使用せず自転車等を利用した人の割合	○	%	28.1		50	－	－	－	－	p.113
27		(2)自転車利用の普及啓発	①健康的でエコな生活の促進	○		○	自動車を利用せずサイクルポートを利用している駐輪台数	○	台	508		550	－	－	－	－	p.110
28		(3)自転車利用環境の整備	①自転車利用環境の整備			○	かぞ観光レンタサイクル利用者数	○	人	1110		1250	－	－	－	－	p.116
29		(4)安全で利用しやすい道路環境の整備	①安全で利用しやすい道路環境の整備			○	既存自転車歩行者道路の改修路線数	○	線	2		1	－	－	－	－	p.117
30	4 再生可能エネルギーの促進	(1)再生可能エネルギーの情報提供及び導入促進	①太陽光パネルの設置	○	○	○	太陽光発電システムの容量総数（経産省）	○	KW	87410		－	120,000	－	－	－	p.105
31			②ZEH（Net Zero Energy House・自家発電の家）	○		○	（例）ZEH家屋件数	－	件	－	－	－	－	－	－	－	
32			③ZEB（Net Zero Energy Building・自家発電ビル）		○	○	（例）ZEBビル件数	－	件	－	－	－	－	－	－	－	
33			④省エネリフォーム	○	○	○	住宅改修補助対象工事件数	○	件	443		330	－	－	－	－	p.103
34			⑤個人のESG（Environment（環境）Social（社会）Governance（法令遵守））投資	○	○		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
35			⑥RE100（Renewable Energy 100%）を宣言する企業の促進		○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
36			⑦カーボンオフセット・Jクレジット制度の活用		○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
37			⑧再生可能エネルギーによる発電システムの導入促進		○	○	市再エネ補助活用による発電システムの容量（太陽光、蓄電池）	○	KW	－	1503.38	－	－	－	－	－	（参考）pp.105-106（R6の件数は194件）
38		(2)環境保全型農業の推進	①ソーラーシェアリングの普及拡大		○	○	環境保全型農業直接支払交付金取組面積	○	m	2039		1045	－	－	－	－	p.61
39		5 環境にやさしい自動車利用等	(1)環境にやさしい自動車利用の促進	○	○	○	（例）適正運転（エコドライブ）の実施率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	（参考）p.108（行政のみ）
40			②ICT（情報・通信技術）によるカーシェアリングの活用	○		○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
41		(2)エコ・カーの普及促進	①EV（電気自動車）車載の蓄電池の導入・設置	○	○	○	市内の軽自動車によるエコ・カーの所有割合	○	%	－	3	－	－	－	－	－	（参考）p.109（行政のみ）
42			②EV（電気自動車）充電施設			○	EV用充電設備整備施設数	○	施設	2	3	15	17	－	－	－	
43		(3)公共交通機関の利用促進	①〔再掲〕スマートムーブ（マイカーを中心とした移動手段を見直し、公共交通機関や自転車の利用により、二酸化炭素排出量を削減する取組）	○	○	○	一日自動車を使用せず自転車等を利用した人の割合	○	%	28.1		50	－	－	－	－	p.113
44		(4)コミュニティバス運行の推進ん	①コミュニティバス運行の利用拡大（デマンド型乗合タクシー・シャトルバス・循環バス）			○	コミュニティバス（3方式合計）の1日当たり利用者数	○	人	212.5		－	270	－	－	－	p.111
45	6 気候変動への対応	(1)農業分野に対する適応策	①バイオマス発電の促進		○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
46			②食事を食べ残さない	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
47			③食品ロス削減の工夫	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
48		(2)自然生態系分野に対する適応策	①自宅でコンポスト	○		○	生ごみ処理容器購入補助基数	○	基	180		150	－	－	－	－	p.138
49			②家庭ごみの減量			○	一人1日あたりのごみの排出量	○	g	949		800	－	－	－	－	p.134
50			③大気汚染の防止			○	監視測定の実施回数	○	回	13		13	－	－	－	－	p.173
51			④生活排水の清浄化	○		○	生活排水処理率	○	%	81.2		84.5	－	－	－	－	p.210
52		(3)健康分野に対する適応策	①クールスポット・クールシェアリング			○	熱中症救急搬送人数	○	人	78		60	－	－	－	－	p.124（クールオアシスは18施設）
53			②クールビズ	○	○	○	（例）クールビズ実施率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
54		(4)自然災害分野に対する適応策	①V2H（Vehicle to Home）の活用	○			（例）V2H整備件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
55			②EV（電気自動車）の活用	○		○	市内の軽自動車によるエコ・カーの所有割合	○	%	－	3	－	－	－	－	－	（参考）p.109（行政のみ）
56			③避難行動	○	○	○	防災研修及び防災出前講座参加者数	○	人	1370		1250	－	－	－	－	p.125
57		(5)都市生活・市民生活に対する適応策	①都市生活・市民生活に対する適応策	○	○	○	気候変動（適応への対応）に関する丈夫お提供回数	○	回	5		5	－	－	－	－	p.126

資料2-2【個別シート(案)の作成例】

具体的な取組

【1】省資源・省エネルギー対策の推進

(2)省エネ設備設置の促進

施策の目的			
循環型社会の構築のため、脱炭素につながる新たな製品等、省エネ設備の設置に係る国・県等の補助制度活用の周知により省エネ設備の普及促進を図ります。			
各主体の役割			
市 民：○			
事業者：○			
行 政：○			
施策の取組と目標			
取組項目	目標指標	2030年度目標	2050年度目標
①再エネ電気への切り替え	再エネ電気活用の周知	今後設定	今後設定
②省エネ家電の導入	省エネ設備導入による効果周知回数	今後設定	今後設定
③消費エネルギーの見える化	(例)スマートメーター導入件数	今後設定	今後設定
施策のスケジュール			
取組項目	2023年度	2030年度	2050年度
①再エネ電気への切り替え	再エネ電気活用の周知	再エネ活用による脱炭素取組の導入	
②省エネ家電の導入	支援策の検討	補助制度など省エネ対策の普及促進	
③消費エネルギーの見える化	導入検討	見える化手段の共有と活用促進	